

授業改善書

科目名	学校臨床心理学
担当者	平宮正志

授業の概要

学校臨床心理学は、全ての教員が学習すべき専門的かつ実践的な内容である。そのため問題行動の概要を理解するだけでなく、今後の教育活動に生かすことができるようカウンセリング心理学に関する深遠な理解を必要とする。具体的には、精神分析、自己理論、行動主義等のカウンセリングの理論や、非言語的技法・言語的技法に関しての理解を深めることができるよう授業を展開する。

授業の問題点

カウンセリングの理論や技法の講義に留まることなく、実際の学校現場で臨床上のいかなる問題が生じているかを指摘することである。なお実際の学校における臨床上の問題を指摘するためには、講師自身が学校教育上の問題点を肌で感じることが大いに役立つ。

授業改善の課題・方策

以前の高校教師やスクールカウンセラー体験を通しての臨床上の気づきを、授業で積極的に提供する。

その他

授業改善書

科目名	道徳教育の研究
担当者	平宮正志

授業の概要

授業は『中学校学習指導要領解説 道徳編(文部科学省)』に基づいて行う。ただ学校現場で道徳教育を行うためには、自身の道徳性向上が不可欠な要素となる。そのため常日頃から、自身の道徳性の向上を心掛けて欲しい。具体的には、お年寄りや体の不自由な方々に座席を率先して譲る、さらには様々なボランティア活動への参加等が考えられる。頭で考えるだけが道徳ではない。行動を伴ってこそその道徳である。

授業の問題点

道徳教育のテーマが多岐にわたることが問題である。

授業改善の課題・方策

学習指導要領に沿ったテーマを多くの書籍や資料の中より見出し、出来るだけ説得力のある説明を心掛ける。またサブの題材として、最新の社会問題・教育問題をタイムリーに提供する。

その他

授業改善書

科目名	特別活動の指導法
担当者	平宮正志

授業の概要

人間関係づくりは、特別活動における主要テーマであり、教員として避けて通れないものでもある。ちなみに中学校学習指導要領に、特別活動の目標「望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。」の記載がある。なおこの目標は、学級活動、生徒会活動及び学校行事の三つの内容の目標を総括する目標でもある。

授業では、特にこの点に配慮し、如何にすれば生徒の人間関係づくりに教師として貢献できるか、構成的グループエンカウンター等の体験学習を交えながら授業展開したいと考えている。

授業の問題点

「特別活動の指導法」の授業の問題点は、リーダーとしての資質をいかに高めるかということである。すなわち本来、リーダー体験を通して高められるべきリーダーシップ力を、講義形式の授業の中でいかに高めるかということでもある。

授業改善の課題・方策

学生諸君が発言する機会を出来るだけ多くする。具体的には、授業の振り返りなどを細目に取り入れる。さらには構成的グループエンカウンターを通して学生同士がふれ合う機会を提供する。

その他